

IoT時代のモヤモヤを自宅で解消

メカニズム丸見え! ラズパイ AIサーバを作る

ご購入はこちら

第9回 MyサーバにMyイベント処理を組み込む

土屋 健

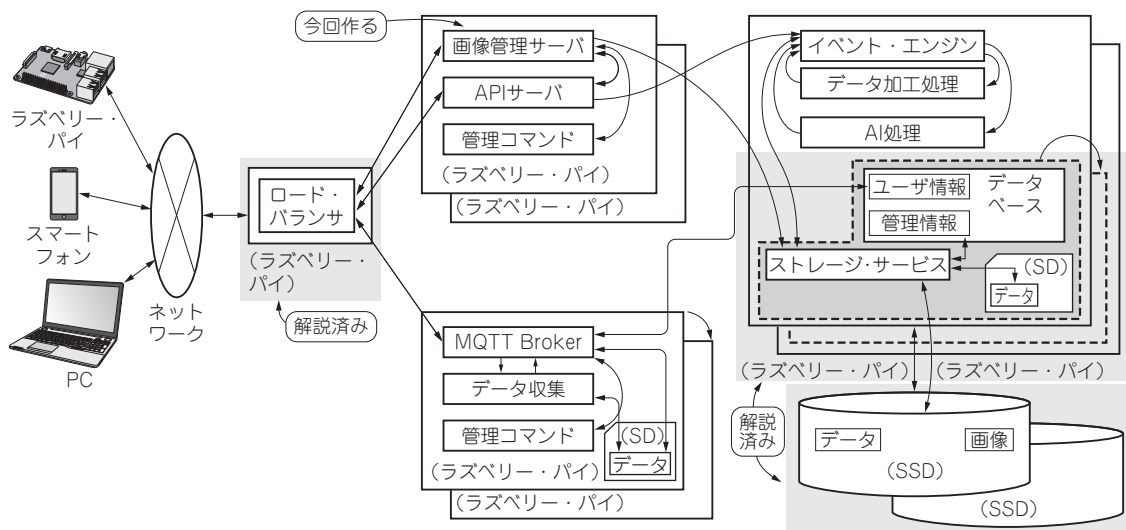


図1 連載で作り上げるAI搭載Myサーバの構成…今回はMyサーバとしての処理を自動実行するイベント・エンジンを作る

これまでの連載では、ストレージ・サービスや保存領域の拡張、ロード・バランサの制作について解説してきました。今回はMyサーバにイベントに応じて自動で、何らかの処理を行ってくれる機能を組み込みます(図1)。

今回やること

● Myサーバとしての処理を組み込む

自動処理を組み込むと次のことができるようになります。

- これまで作成してきたストレージ・サービスにファイルをアップロード
- 今後作成するセンサ・データ収集機能でのメッセージ受信を契機に、受け取ったデータの加工や別システムへのリクエスト要求などを行う

つまり、「何らかのイベント」を契機に「登録済みの処理」を実行する仕組みです。

イベントの例としては表1のようなものがありま

す。登録済み処理(アクション)の例としては表2のようなものがあります。

このような仕組みを用意することで、利用者はファイルやデータをシステムに送るだけで定型処理を自動実行できるようになります。

● 意外と簡単…条件を登録しておくだけ

このような機能のメリットは利用者の負担軽減です。例えば画像ファイルをフォルダに仕分けするなどの場合、ユーザがフォルダを作り、作成日時を確認してファイルを配置するなどをしていましたが、自動処理の場合、条件を登録しておけばファイルをアップロードするだけで振り分けできます。

また、ファイルの作成日時などでの分類の他に、機械学習などの仕組みを使って内容による分類(写っているもので画像を分類する)を自動で行うことなども可能となります。

自動処理するためには当然ながら準備が必要になります。作業内容にもよりますが、1~数回だけ行うこ